

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

17年7月3日

東区のAさんに対する税務調査(下段記事)

支部総会で怒り

先日税務署交渉を行い支部総会に参加したAさん、「いままで商工新聞の記事を見ても他人事だったが、自分が同じ目に合つて、民商運動に積極的にかかわらないとダメだと思つている」と発言しました。

こんな項目で税務署交渉をしなければならぬ情けない税務行政

野上副会長ら四名で税務交渉を行いました。要望書の概要は以下の通りです。

税務運営方針では、「課税標準の調査に当たっては、事実関係を的確に把握し、納税者の誤りを是正しなければならないことはもちろんであるが、それを契機に、納税者が税務知識を深め、更に進んで納税意識をも高めるように努めなければならない」としています。また税務署の質問検査権は「犯罪捜査のために認められたものと解してはならない」(国税通則法) ものです。これを守り、税務調査において次の事項を要望します。

- ① 納税者に対して親切丁寧に接し、罵声を浴びせたりして、納税者が恐怖を感じるような態度はしないこと
- ② 納税者を犯罪者扱いしないでください。
- ③ 反面調査は、「客観的に見てやむを得ない場合に限って行う」(税務運営方針) ことを守ること。
- ④ 納税者・国民の居宅に許可なく入らないこと。
- ⑤ 納税者の質問には、親切丁寧に対応し法律的な根拠も示して、説明すること。

Aさんは謝罪を要求、総務課長は民商の要望に「このように対応する」「担当者に伝え、担当者から回答する」との回答に終始。

支部総会では安倍政権と同じやり方、全会員・全業者に知らようと話し合いました。

日程

- ・七月六日 財政部会
- ・七月九日 県母親大会
- ・七月一〇日 常任理事会

「こんな調査は許さない!」強権的・威圧的な調査に怒り

東区で建設業を営むAさんのところに新潟税務署から「3年間の税務調査をしたい」と連絡がありました。依頼している税理士立ち会いの下で調査に臨みました。初日の調査には署員が1人で来所しました。Aさんは応接間に資料を並べて待つていましたが、あいさつもせず事務所に入りこみ、命令口調で「あれを出せ」「これを出せ」と威圧的な振る舞いを行い、Aさんも事務員も恐怖感でいっぱいになりました。

次の日には署員が2名で来所。争点になったのは外注として取引している実父の外注費と、パートで勤めている実母の給与でした。税務署員は頭から「この外注費と給与は所得隠しのためのもので実際は払われてないのでは?」と問い詰めてきます。資料の確認もしない対応は、まるで犯罪者扱いでした。

その上、署員は「あなたの父親は定年生活者と見られるから、現在実家に他の署員を向かわせた」と驚く発言。実際、その日の実父は工事現場にいており実家にいないことを話しましたが聞く耳を持ちません。これとはほぼ同時に、実家には他の署員が現れました。その署員は玄関先で「開けてください」と大きな声で叫び、実母が「どちら様でしょうか?」と問いかけても、「開けてくれないと話が出来ないから、とにかく開けてくれ」の一点張り。玄関ドアを開けると「どうぞ」も言わないうちに玄関へ入りこんできました。元々Aさんの母親は精神不安定の状況でしたが、「息子の会社のことで聞きたい」と突然の質問攻めにあい、パニック状態を起こして病状は悪化してしまいました。この行為への抗議をしましたが、署員は軽く謝る程度でした。

Aさんは元々民商会員で、支部の集まりや過去には青年部の集まりにも参加してきました。こんな調査が許されるのかと疑問を持って事務所に連絡。納税者の権利をともに学んで、自信と怒りを持って税務署交渉に臨みました。

地域に溶け込んだ支部づくり

太平支部総会

太平支部は、6月26日(日)に会員のお店味覚楽道樽さんと渋谷県議、五十嵐市議を迎えて、会員11名で支部総会を開きました。

来賓のあいさつの後、滝澤支部長(大工工事)から「地域と一緒に頑張って街が元気が出る活動をするために、会員の特技を生かしたスポーツサークル、文化・趣味講座などの取組み、会員のつながりを広げる支部ニュースの定期発行、年3回程度の新聞折り込みの要求相談会の計画」などの今後の活動について報告がありました。

総会后、小田島さん(建築業)乾杯で第二部の懇親会に入りました。



三支部合併総会

万代支部

6月24日(土)沼垂支部/万代支部/流作場支部の三支部での合併総会が行われました。会場は万代支部会員のお店『割烹 山生(やまみ)』で総勢15名が参加しました。伊藤孝沼垂支部長から開会の挨拶が行われたのちに今総会で合併となる三支部の支部名と新しい役員体制が提案され承認されました。合併後の新支部名は『万代支部』で支部長



には伊藤孝さん(左官業)副支部長には藤崎勝吉さん(管工事業)と朝倉茂さん(印鑑製造販売業)が選出されました。第二部の懇親会では参加者それぞれが自己紹介を行い初対面どうしでもざつくばらんに話し合い時間が経つのも忘れておおいに盛り上がりました。

中央支部総会

6月19日(月)『岡田』さんに10名が集まり、支部総会が開催されました。

内藤さん(理容業)の司会進行で、中村支部長(塗装工事業)のあいさつ・渡辺副会長(美容業)のあいさつと続き、出席できなかった野本市会議員のメッセージを紹介しました。

真柄さん(眼鏡小売業)の乾杯あいさつの後は、一人づつ自己紹介。「申告作成会の時、中村支部長宅の玄関に英語の張り紙があつたけど・・・火を消すのを2回忘れたことがあります、気を付けろと書いてある。独学です」支部長は何十年前、ベラミさんの3軒隣のタクシー会社にいたこともありました。今回初参加の『桜蘭』姉妹(中華店)は、真柄さんがお父さんと船でよく釣りに行ったという事で、子供の頃から知っていました。『桜蘭』は50周年を迎える人気店。上古町は若手が進出し、活気づいている様でした。古町で2店舗、靴・かばんを販売している『フリーフォーム』今の商売に至った経緯、「イタリアなんかは小さな企業を育てて増やし、職人を大切にしている。日本は逆。古町のお客さんは高齢化していて、専門学生はコンビニしか利用していない感じ」。「マイナンバーの管理が嫌で受け取りたくないが、保険の手続きが必要と言われて困る」と語ってくださいました。「三浦さんみたいな街の電気屋さんが必要だね」三浦さんに頼めばなおらないものはないし、アフターサービスが抜群です。地域の現状も垣間見れた、充実した総会でした。

曾野木支部総会

6月24日(土)曾野木支部で「魚三」を会場に支部総会が開催されました。来賓に渡部睦夫副会長と渡辺有子市会議員を迎え、15名が出席しました。

今期より支部長に就任した風間光浩さん(電気工事)は「廃業などにより、退会が増えている。これ以上、会員を減らさないよう努力していきたい」と意気込みを語りました。

